（西暦）2026 年 4 月 9 日

滋賀医科大学整形外科を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （受付番号/承認番号）	脊柱靭帯骨化症治療後残存症状に関する研究（B20-320）
当院の研究責任者 （所属・職位）	脊椎・関節機能再建学講座　特任教授　森　幹士
他の研究機関および各施設の研究責任者	吉井　俊貴　東京科学大学整形外科　教授 岩崎　幹季　大阪労災病院整形外科　部長 中嶋　秀明　福井大学医学部器官制御医学講座整形外科　講師 山崎　正志　筑波大学医療系学部整形外科　教授 竹下　克志　自治医科大学医学部整形外科　教授 今釜　史郎　名古屋大学大学院医学系研究科整形外科　教授 松山　幸弘　浜松医科大学整形外科　教授 森　幹士　滋賀医科大学整形外科　准教授 山田　宏　和歌山県立医科大学整形外科　教授 遠藤　直人　新潟大学教育研究院医歯学系整形外科　教授 高畑　雅彦　北海道大学病院整形外科　准教授 菅野　晴夫　東北大学整形外科　講師 種市　洋　獨協医科大学整形外科　教授 山本　謙吾　東京医科大学整形外科　教授 渡辺　雅彦　東海大学医学部外科学系整形外科　教授 今城　靖明　山口大学大学院医学系研究科整形外科　准教授 波呂　浩孝　山梨大学院医学工学総合研究科整形外科　教授 古矢　丈雄　千葉大学大学院医学研究院　整形外科　講師 和田　簡一郎　弘前大学大学院医学研究科整形外科　講師 大島　寧　東京大学医学部整形外科　准教授 海渡　貴司　大阪大学大学院器官制御外科学整形外科　講師 松本　守雄　慶應義塾大学医学部整形外科　教授 藤林　俊介　京都大学整形外科　特定教授 新井　嘉容　済生会川口総合病院　整形外科　主任部長 進藤　重雄　九段坂病院　整形外科　診療部長 佐藤　公昭　久留米大学医学部整形外科　教授 出村　諭　金沢大学整形外科　准教授 川口　善治　富山大学大学院医学薬学研究部整形外科　教授 八木　満　国際医療福祉大学整形外科　教授 筑田　博隆　群馬大学整形外科　教授 三澤　治夫　岡山大学医歯薬学総合研究科整形外科　助教 谷口　昇　鹿児島大学大学院整形外科　教授 小澤　浩司　東北医科薬科大学整形外科　教授
本研究の概要・背景・目的	脊柱靭帯骨化症は厚生労働省がさだめる難病に指定されている疾患の一つであり、脊柱のほぼ全長を縦走する靭帯が骨化することにより脊椎管狭窄をきたし、脊髄または神経根の圧迫障害を来す疾患です。保存的治療で効果が得られない場合や、脊髄症状が明らかな症例には手術療法が行われ、様々な研究が進んでおります。しかし、手術や保存的治療によっても残存する症状に関しては未だ解明されていないことも多く、一定期間治療を行なっても残存する症状を把握することが非常に重要であると考えられ、本研究では治療によって残存する症状を把握し、残存した症状の治療方法の有効性、安全性を評価することが目的です。

調査データ 該当期間	研究機関の長の許可日から 2028 年 12 月 31 日まで
対象となる患者さま	上記期間内に滋賀医科大学附属病院に脊柱靭帯骨化症で受診され、保存的治療または手術治療を受けられて1年以上経過された患者さまです。
研究の方法 （使用する試料等）	利用する情報 研究機関の長の許可日から 2030 年 12 月 31 日までの電子カルテ内の診療記録、画像検査、症状、使用している薬剤、症状に関する質問票にご回答頂いたデータを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ郵送もしくは電子的配信にて提供します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究は日本医療研究開発機構(AMED)研究費、厚生労働科学研究費補助金、北里大学医学部整形外科学の研究費を使用して行います。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: **所属・職位:脊椎・関節機能再建学講座・特任教授** **担 当 者:(フリガナ) 森 幹士 (モリ カンジ)** **電 話: 077-548-2252 (平日 9 時～17 時)**
備 考	